

研究集会@RIMS 「数学史の研究」

2015 年8月3～6日

京都大学数理解析研究所 111 号室

最終更新 7月31日

研究代表者：城地 茂（大阪教育大学国際センター） jochi@cc.osaka-kyoiku.ac.jp

協力：岡本 久（数理解析研究所）

8月3日（月）（13：00～16：50）

座長 高瀬正仁

13:00 開始

13:05～13:45 足立恒雄 「イエズス会とガリレオ派の不可分者を巡る闘争—A. アレクサンダー 『無限小』 紹介」

13:50～14:30 伊藤美香 「数学におけるBolzanoの無限概念」

14:35～15:15 城地 茂 「朝鮮木版本『楊輝算法』の考察—高麗大学校本と延世大学校本」

15:25～16:05 神谷徳昭 「安藤有益の奇偶方数について」

16:10～16:50 三浦伸夫 「再考「数学史の歴史」」

8月4日（火）（9：00～17：00）

座長：佐々木力

9:00～ 9:40 ハラルド・クマレ 「明治・大正期の数学専攻分野における量的調査—三つの帝国大学を対象として—」

9:50～10:30 寺山のり子 「ナチス体制下におけるドイツ数学界と「ドイツ数学」」

10:40～11:20 公田 藏 「近代日本において教えられ、学ばれた幾何学」

(昼休み)

(渋川春海没後300周年記念：東アジアの天文学と数学)

座長：城地 茂

12:40～13:40 宮島一彦 「東アジアの星図作図様式と水運儀象台の原寸復元」

13:45～14:45 中村 士 「東アジア古星図・星表の成立年の統計的推定」

座長：公田 藏

14:55～15:55 高瀬正仁 「リーマンのアーベル関数論」

16:00～17:00 佐々木力 「文化相関的数学の哲学のイデーン」

17：30 懇親会

8月5日(水) (9:00~17:00)

座長：小川 東

9:00~ 9:40 鈴木武雄 「橋本伝兵衛正数とその伝書」

9:45~10:25 野村恒彦 「チャールズ・バベッジ“The Essays on the Philosophy of Analysis”のうち“Merits for Invention and the Philosophy of Analysis”について」

10:35~11:35 小林龍彦 「中根元圭の研究(V)」

(昼休み)

座長：小林龍彦

13:20~14:20 長田直樹 「関孝和『開方翻変之法』について」

14:25~15:05 曾我昇平 「『大成算経』における開立方法」

15:15~15:55 堀口俊二・下斗米哲明 「規矩元法別伝一卷・秘八事絵巻と規矩元法別伝目録秘八目録図解の比較」

16:00~17:00 小川 東 「近世日本算書の英訳の標準化について」

8月6日(木) (9:00~12:00)

座長 城地 茂

9:00~ 9:40 藤井康生 「会田と神谷との論争—愛宕山算題について—」

10:50~10:30 柏崎昭文 「アジア数学史家としての三上義夫」

10:40~11:20 小曾根淳 「和算の環円図形に関連する外国由来の文様について」

11:20~11:35 次年度の開催、『講究録』発行について

備考

(1) 最新のプログラムは「日本数学史・天文学史」 「CONGRESS」

(<http://www.osaka-kyoiku.ac.jp/~jochi/congress.htm>) をご覧下さい。

(2) 8月4日(火)に懇親会を京都大学生協で予定しています。参加ご希望の方は事前にお申し込みください。講演者以外の方々の参加も歓迎します。

本集会には、京都大学数理解析研究所の補助、および科学研究費補助金・基盤研究(C)課題番号25350380(代表者・城地茂)の補助を受けました。